

LINE アンケート「市役所の移転と深沢地区の新しいまちづくりのアンケート」報告書

1 アンケート期間

令和5年4月5日から18日まで

2 対象者

(1) 発信対象者

令和5年4月18日時点の鎌倉市公式LINE登録者（リーチ人数）18,176人

(2) アンケートへのアクセス数

1,742人

3 回答者

994人

回答者属性は4回答における質問7及び8への回答のとおり。

4 回答

質問、回答内容等は次のとおり。

質問1 市役所に移転の計画があることを知っていますか？

- (1) よく知っている
- (2) 見聞きしたことがあり、少し知っている
- (3) 見聞きしたことがあるが、よく知らない
- (4) 見聞きしたことがなく、全然知らない

回答1

(1)よく知っている	425人	43%
(2)見聞きしたことがあり、少し知っている	420人	42%
(3)見聞きしたことがあるが、よく知らない	129人	13%
(4)見聞きしたことがなく、全然知らない	20人	2%
回答数合計	994人	

評価1

よく知っているとの回答は全体の43%、知っている又は見聞きしたことがあり少し知っているとの回答は全体の85%となっており、市民への情報が一定程度届いている状況である。また、各回答項目における、年代・地域別では、よく知っている・少し知っていると回答したのは、地域では鎌倉・腰越・深沢地域、年代では20代、また、50代以上が比較的多く、よく知らない、全然知らないと回答したのは地域では大船・玉縄地域、年代では30代、40代において比較的多くみられた。

質問2 深沢地区に新しいまちづくりを計画していることを知っていますか？

- (1) よく知っている
- (2) 見聞きしたことがあり、少し知っている
- (3) 見聞きしたことがあるが、よく知らない
- (4) 見聞きしたことがなく、全然知らない

回答 2

(1)よく知っている	297 人	30%
(2)見聞きしたことがあり、少し知っている	400 人	40%
(3)見聞きしたことがあるが、よく知らない	208 人	21%
(4)見聞きしたことがなく、全然知らない	89 人	9%
	994 人	

評価 2

よく知っているとの回答は全体の 30%、知っている又は見聞きしたことがあり少し知っているとの回答は全体の 70%となっており、市民への情報が一定程度届いている状況である。また、各回答項目における、年代・地域別では、よく知っている・少し知っていると回答したのは、地域では腰越・深沢地域、年代では 40 代以上において比較的多く、よく知らない、全然知らないと回答したのは地域では鎌倉・大船・玉縄地域、年代では 20 代、30 代において比較的多くみられた。

質問 3 市役所の移転と深沢地区の新しいまちづくりの市の取組について、気になるポイントを教えてください。(複数回答)

- (1) 市役所の移転理由と検討の経過
- (2) 新庁舎の概要（費用・スケジュール、環境配慮など）
- (3) 移転後の現在地の活用
- (4) 深沢地区でまちづくりを進める理由と検討の経過
- (5) 深沢地区のまちづくりの将来像
- (6) 深沢地区のまちづくりの概要（費用・スケジュール、環境配慮など）
- (7) 特にない
- (8) その他

回答 3（複数回答）

(1)市役所の移転理由と検討の経過	370 人	37.2%
(2)新庁舎の概要（費用・スケジュール・環境配慮など）	504 人	50.7%
(3)移転後の現在地の活用	498 人	50.1%
(4)深沢地区でまちづくりを進める理由と検討の経過	315 人	31.7%
(5)深沢地区のまちづくりの将来像	522 人	52.5%
(6)深沢地区のまちづくりの概要（費用・スケジュール・環境配慮など）	393 人	39.5%
(7)特にない	25 人	2.5%

(8)その他（記入欄あり）	107人	10.8%
回答者	994人	

(8)その他記入内容 123 件（その他を選択した人は 107 人、文字入力した人は 123 人）
別紙 1 のとおり。

評価 3

市役所の移転と深沢地区の新しいまちづくりの市の取組については、「深沢地区のまちづくりの将来像」を選択した回答が回答者のうち 52.5%と最も多く、次いで「新庁舎の概要（費用・スケジュール・環境配慮など）」、「移転後の現在地の活用」が多く選択され、約半数の回答者が選択した。また、「市役所の移転理由と検討の経過」、「深沢地区のまちづくりの概要（費用・スケジュール・環境配慮など）」、「深沢地区でまちづくりを進める理由と検討の経過」について 3 割以上の回答者が選択しており、それぞれ高い関心がもたれている。

質問 4 新しい市役所や公共施設、まちづくりについて、関心事項を教えてください（複数回答）

- (1) ていねいで利用者負担の少ない行政サービス（対面相談・DX）のこと
- (2) 新しい時代の図書館や学習センター、スポーツ施設のこと
- (3) 身近な公園やグラウンドのこと
- (4) 防災、災害に関すること
- (5) 道路事情や次世代交通など交通のこと
- (6) 子育ての環境、学校や学童に関すること
- (7) 環境への配慮（自然エネルギーの活用や自然環境）のこと
- (8) 人がつどい、つながりをつくる場や機会のこと
- (9) その他

回答 4（複数回答）

(1)丁寧で利用者負担の少ない行政サービス（対面相談・DX）のこと	453人	45.6%
(2)新しい時代の図書館や学習センター、スポーツ施設のこと	616人	62.0%
(3)身近な公園やグラウンドのこと	505人	50.8%
(4)防災、災害に関すること	509人	51.2%
(5)道路事情や次世代交通など交通に関すること	485人	48.8%
(6)子育ての環境、学校や学童に関すること	549人	55.2%
(7)環境への配慮（自然エネルギーの活用や自然環境）のこと	270人	27.2%
(8)人がつどい、つながりをつくる場や機会のこと	287人	28.9%
(9)その他（記入欄あり）	74人	7.4%
回答者	994人	

(9)その他記入内容 43 件（その他を選択した人は 74 人、文字入力した人は 43 人）
別紙 2 のとおり。

評価 4

新しい市役所や公共施設、まちづくりに関する関心事について、「新しい時代の図書館や学習センター、スポーツ施設のこと」について約6割の回答者が選択し、次いで「子育ての環境、学校や学童に関すること」、「防災、災害に関すること」、「身近な公園やグラウンドのこと」、「道路事情や次世代交通など交通に関すること」について約半数の回答者が選択した。また、「環境への配慮（自然エネルギーの活用や自然環境）のこと」及び「人がつどい、つながりをつくる場や機会のこと」について約3割の回答者が選択しており、どの項目についても高い関心が寄せられた。

質問5 新しいまちづくりなどのアイデアを市に伝えたいとき、どんな方法が伝えやすいですか？（複数回答）

- (1) 市役所や支所に直接行く
- (2) 市に直接電話またはメール・LINE
- (3) 市からのアンケート（紙またはLINEなどのオンライン）
- (4) 市の説明会やワークショップ（対面またはオンライン）
- (5) その他

回答5（複数回答）

(1)市役所や支所に直接行き話す	69人	6.9%
(2)市に直接電話またはメールやLINE	451人	45.4%
(3)市からのアンケート（紙またはLINEなどのオンライン）	766人	77.1%
(4)市の説明会やワークショップ（対面またはオンライン）	195人	19.6%
(5)その他（記入欄あり）	30人	3.0%
回答者	994人	

(5)その他記入内容19件（その他を選択した人は30人、文字入力した人は19人）

別紙3のとおり。

評価5

新しいまちづくりなどのアイデアを市に伝えたいときの方法として、「市からのアンケート（紙またはLINEなどのオンライン）」を選択した回答者が約8割に及んでおり、アンケートによって意見を伝えたいとする声が多かった。その他、直接伝えることを選択した回答者が4割以上、説明会やワークショップを選択した回答者は2割弱となっており、意見聴取における効率的な手法等について示唆された。

質問6 市からの情報は、どのような発信方法だと受け取りやすいですか？（複数回答）

- (1) 広報かまくらへの掲載
- (2) 対面型の説明会やワークショップの開催
- (3) オンライン型の説明会やワークショップの開催
- (4) SNS（HP、LINE、YouTube等）の発信
- (5) イベントやイベントブースでの展示
- (6) その他

回答6（複数回答）

(1)広報かまくらへの掲載	692人	69.6%
(2)対面型の説明会やワークショップの開催	120人	12.1%
(3)オンライン型の説明会やワークショップの開催	201人	20.2%
(4)SNS（HP、LINE、YouTube等）の発信	852人	85.7%
(5)イベントやイベントブースでの展示・説明	137人	13.8%
(6)その他（記入欄あり）	17人	1.7%
回答者	994人	

(6)その他記入内容18件（その他を選択した人は17人、文字入力した人は18人）

別紙4のとおり。

評価6

受け取りやすい市からの情報発信は、回答者において8割以上が「SNS（HP、LINE、YouTube等）の発信」を選択した。次いで7割弱が「広報かまくらへの掲載」を選択し、約2割が「オンライン型の説明会やワークショップの開催」を選択した。SNS、広報紙を通じた発信効果が示唆された。

質問7 あなたの年代を教えてください。

- (1) 10代
- (2) 20代
- (3) 30代
- (4) 40代
- (5) 50代
- (6) 60代
- (7) 70代以上
- (8) 答えたくない

回答7

(1)10代	3人	0.3%
(2)20代	49人	4.9%
(3)30代	291人	29.3%
(4)40代	273人	27.5%
(5)50代	175人	17.6%
(6)60代	129人	13.0%
(7)70代以上	69人	6.9%
(8)答えたくない	5人	0.5%
	994人	

質問8 居住地域を教えてください。

- (1) 鎌倉地域
- (2) 腰越地域
- (3) 深沢地域
- (4) 大船地域
- (5) 玉縄地域
- (6) 市外在住（市内在学・在勤）
- (7) 市外在住（上記以外）

回答8

(1) 鎌倉地域	247 人	24.8%
(2) 腰越地域	130 人	13.1%
(3) 深沢地域	236 人	23.7%
(4) 大船地域	244 人	24.5%
(5) 玉縄地域	115 人	11.6%
(6) 市外在住（市内在学・在勤）	12 人	1.2%
(7) 市外在住（上記以外）	10 人	1.0%
	994 人	